

表1 相模国・南武蔵の城郭の変遷と争乱

	相模西部	津久井部	中央部	東部	三浦郡	多摩川以南 南武蔵	相武の 争乱
15C前半	小田原城 ←城主=大森氏						a b
中頃		①津久井城	●岡崎城	●②玉縄城	▲③三崎城	●④小机城	c
後半	★			●⑤大庭城	▲⑥新井城	●⑦茅ヶ崎	d e
16C前半	★		※	○	☆	○	f g
中頃							
後半							
1590年	開城・落城						h
	江戸初期まで存続					廃城	

記号：●最初は上杉系城郭 ▲海城 ★この頃に北条氏が小田原城奪取 ☆1516年落城→廃城 ○1530～40年代頃廃城 ※1512年落城→廃城 ■村町の共有地・地域の城跡として維持存続
囲み文字=小田原城の支城 相武地域の争乱：a 上杉禅秀の乱(1416～17) b 永享の乱(1438～39) c 享徳の乱(1455～83) d 長尾景春の乱(1476～80) e 長享の乱(1487～1505) f 上杉謙信の小田原侵攻(1561) g 武田信玄の小田原侵攻(1569) h 豊臣秀吉の小田原攻め(1590)

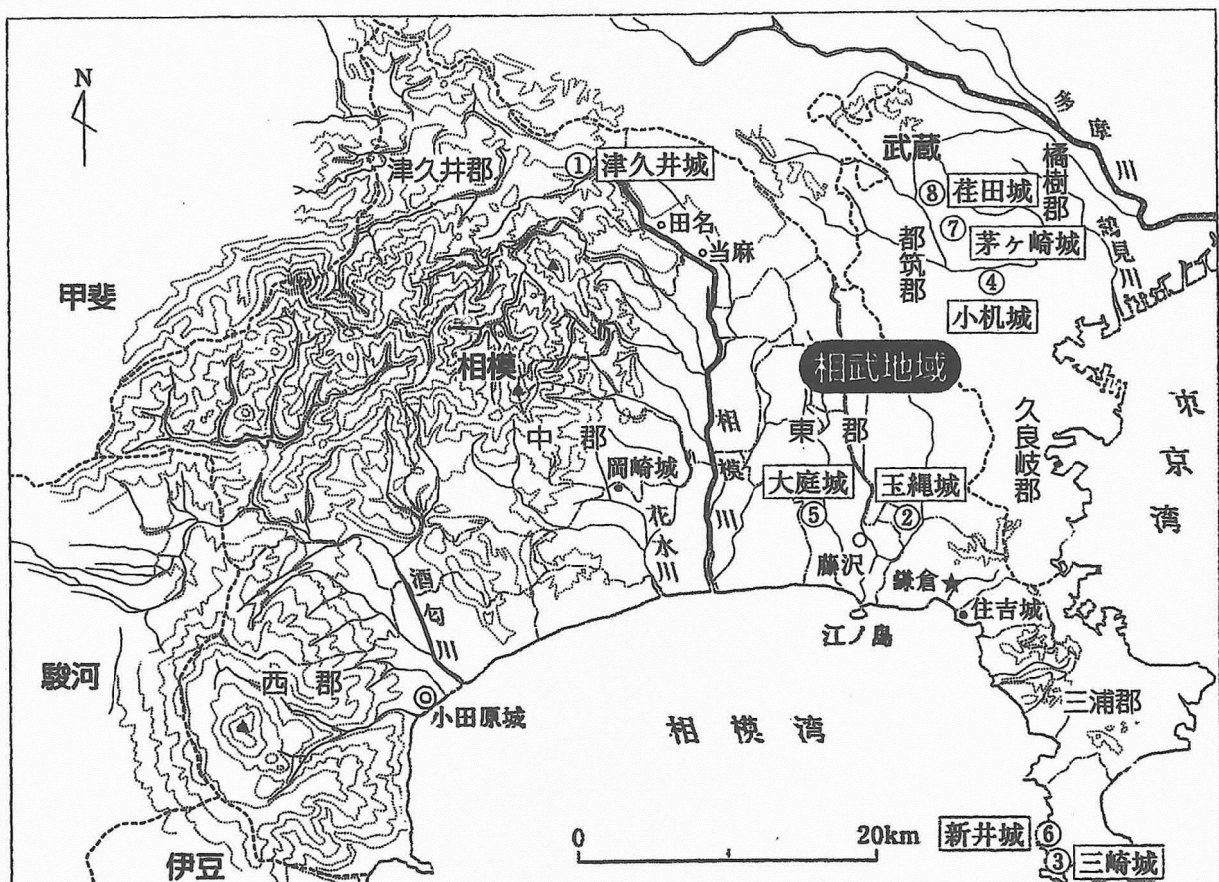


図1 十六世紀前半頃の相模国～南武蔵の主要城郭（大河内勉註8より加筆引用）